

◇「ナゼスタイル」は長岡で頑張る企業・起業家を応援するフリーペーパーです。(季刊誌発行)

NAZE Style

Nagaoka Activation
Zone of Energy

vol.60
20170707

FREE
0円



CONTENTS :

第21回機械要素技術展 M-Tech 出展報告

豪技開発秘話① (株)大原鉄工所

学生のモノづくり企業訪問記 vol.41 イトーキマルイ工業(株) × 長岡大学

NAZE NEWS

新会員企業紹介

会員ピックアップ「会員紹介Advance」

撮影場所: 第21回機械要素技術展 M-Tech (東京ビッグサイト)

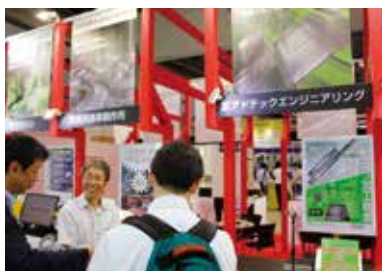
第21回 機械要素技術展 M-Techへ、12年



6月21日(水)~23日(金)の3日間、東京ビッグサイトで開催された「第21回機械要素技術展 M-Tech」に、今年も「長岡モノづくりゾーン」に出展。今年の「長岡モノづくりゾーン」は、NAZEと長岡ものづくり(NAZE会員:11社)し、各社の製品・技術はもちろん、長岡地域の展示会への出展に併せて、今後の展示会・見本市等への出展の検討や、定の「第21回機械要素技術展 見学会」を開催。計13名が参加しました。



株式会社 アドテックエンジニアリング



出展内容

- ・高精度深穴加工製造部品
- ・難削材、高硬度部品の加工技術

この度、NAZE様からのご案内により、初めて機械要素技術展に出展させて頂きました。会期中に具体的な引合いもあり、またNAZE会員として企業間のつながりが出来たことを大変有り難いと感じました。この度は、誠にありがとうございました。

(FA営業部課長 竹内 博)

株式会社 アルモ



出展内容

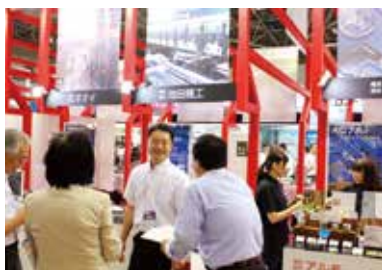
- ・AC7A アルミ鋳造品
- ・アルミ鋳物製ぐい呑み

今年で12回目の出展となります。昨年に引き続き、我が社のアルミ鋳造技術を活かした車両用部品・医療機器部品の展示のほか、弊社オリジナル商品である「アルミ鋳物製ぐい呑み」や「アルミかっさプレート」などの展示・販売をしました。

M-Tech全体の出展社数、来場者数は年々増加しているようですが、我が「長岡ものづくりゾーン」は昨年より訪問者数が少なかつたように感じました。来年以降も継続出展を目指し、事前PR方法などにさらに改善し長岡の技術をよりPRしたいと思います。

(代表取締役社長 柴木 樹)

株式会社 池田機工



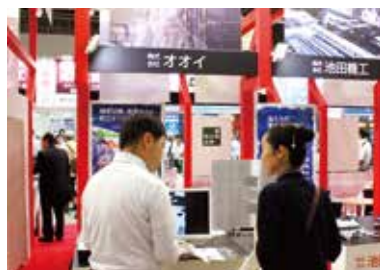
出展内容

- ・最新の設備による各種精密板金加工

昨年に引き続き、M-Techへ出展いたしました。今年は、悪天候の影響もあり来場者が少なく感じ、また実際に弊社ブースへの来場者数も過去最少となりました。しかしながら、昨年とは全く違うレスポンスの早さに驚いております。それだけ、ユーザー・サプライヤーともに、ひっ迫したストレスを抱えているのだと実感いたしました。この引合いの全てがチャンスかどうかは、もう少し冷静に評価する必要がありますが、労を惜しまず出展したことに大きな意義を感じております。最後に、出展の準備・ご協力いただいた皆さまへ、感謝申し上げます。

(専務取締役 池田一雄)

株式会社 オオイ



出展内容

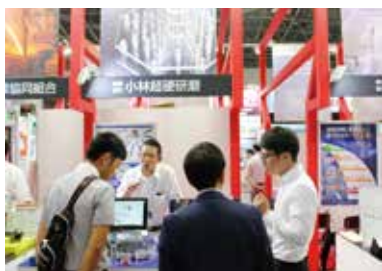
- ・各種切削・研削加工部品
- ・精密加工部品
- ・自社一環製造の特徴

今回、弊社は初めて出展させて頂きました。私自身このような展示会への参加が初めてでわからない事が多く、不安がありましたが無事に終えることが出来ました。

期間中、各社のブースを同じ出展者の目線(立場)で見ると、各社様々な工夫がされており、参考になりました。

最後に渡貴様はじめNAZE事務局の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。(営業部係長 市川 光)

有限会社 小林超硬研磨



出展内容

- ・超硬合金(ハイス・PCD等)の切削工具及び丸棒の研磨品

当社は初めて出展をさせて頂きました。大きく変わった事は今までは見る側だったのが見る側になった事です。何を展示したら良いのだろうか?打合せを重ね、期間中はブースで来場者の反応を確認し課題も残りましたが充実した時間が過ごせたと思います。最後に事務局の方々と一緒に出展をして頂いた企業様に感謝申し上げます。

(代表取締役 今枝龍哉)

株式会社 サンシン



出展内容

- ・平坦化・面精度の超仕上げ研磨加工の追求!!

機械要素技術展に参加させていただいたの感想ですが、出席者と来場者双方の熱がものすごく感じられました。弊社のブースにもたくさんのお客様にお越しいただき、「テープ研磨」を知っていただく貴重な機会となりました。このようなイベントに参加させていただき感謝しております。ありがとうございました。

(技術開発部機械設計課 嶋田貞行)

連続『長岡モノづくりゾーン』として出展!

21回機械要素技術展」(M-Tech)へ、12年連続「長岡モノづくりゾーン」ネットワークとが連携し、長岡地域のモノづくり企業・団体13社が出展。モノづくり企業の優れた製品・技術を全国へPRしました。社員教育の機会として、会期初日の6月21日(水)に、NAZE会員限



株式会社 タカハシ



出展内容

- ・精密板金加工品
- ・難易度の高い溶接技術の紹介
- ・精密板金×機械加工による一貫製造技術

今回、前年までの出展コマ数の倍の枠が用意されたとの事で出展させて頂きました。すぐには効果が出ないとの意見を聞いておりましたが、天候が悪い中でも来場者の反応は良かったと思います。県外の景気が良いのか、すぐにも協力会社が欲しいとの会社が数社ありました。負担も大きかったが、出展した意義も大きく、関係者の皆様方に御礼を申し上げます。

(専務取締役 高橋 謙)

中越鋳物工業協同組合



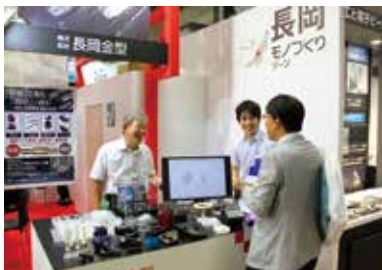
出展内容

- ・大物製品から小物製品まで多様化するユーザーニーズに対応
- ・模型から鋳造・加工まで一貫生産が可能

連続8回目の出展です。調理器具・食器(生活用品)、家電部品・自動車部品・建築部品(機械部品)といった多種多様な展示品を取り揃えたことで、協同組合の特色である「取扱製品の多種多様性」や「鋳造技術が持つ可能性」を、ブースに足を運んでいただいた方々に対し、積極的にアピールすることができました。このような機会を設けていただきました全ての長岡ものづくり関係者に対し、改めて感謝と御礼を申し上げます。

(事務局 小山和久)

株式会社 長岡金型



出展内容

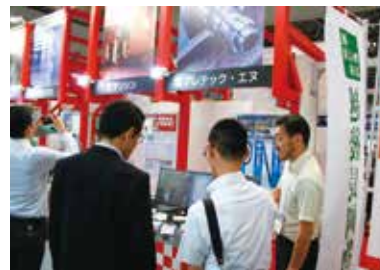
- ・ジルコニア系セラミック製ゲートブッシュ
- ・金型製造樹脂製品

今回で3回目の展示会出展となりました。初日は悪天候の為か来場者が少なく不安もありましたが、2日目以降は、多くの方に来場頂き盛況の内に終える事が出来ました。

今年もこのような機会を設けて頂きました関係者の皆様へ感謝と御礼を申し上げます。

(金型事業部 高坂 社)

株式会社 プレテック・エヌ



出展内容

- ・各種金属の丸物・角物・複雑形状削り出し品
- ・弊社設計&アッセンブリー品

これまでは如何に目立つものを展示して目を引くかということに注力していましたが、今回は得意なものを前面に出していこうと新たに展示品を製作しました。手に取って見てくださることが多くなり、前回よりも多くのお話を頂くことができました。出展に際し、ご尽力いただいたスタッフや関係者の皆様へ心より感謝申し上げます。

(専務取締役 永井宏明)

株式会社 大原鉄工所(豪技)



出展内容

- ・エコ社会推進に向けた再生可能エネルギー発電システム

豪技認定を頂いたバイオガス発電システムを中心に展示いたしました。適用先が下水処理場や牧場などニッチであることから不安を感じておりましたが、当初の想像よりも多くの方に足を止めていただき関連業界外の方にPRする良い機会となりました。このような機会を下さったNAZEならびに関係者の皆様方に改めて御礼申し上げます。

(企画開発営業部 大塚尚子)



6/21(水)

「第21回機械要素技術展」見学会開催

小型バイオガス発電システム

vol.1/3

株式会社 大原鉄工所

代表取締役 大原 興人

〈消化ガス発電機とは〉

大原鉄工所が南極観測などの雪上車を作っていることはご存じの方もおられると思いますが、環境機器メーカーとしてバイオガス発電システムを作っていることはあまり知られていないのではないのでしょうか。弊社のバイオガス発電システムはメタンガスを主成分とするバイオガスを燃料として発電し、さらに排熱を利用するシステムです。バイオガスは有機物であるバイオマスを原料とするガスで、これを活用すれば化石燃料の使用量が削減できるだけでなく、二酸化炭素排出量の削減ができるクリーンなエネルギーです。バイオガス発電はこのクリーンエネルギーであるバイオガスの有効利用方法として注目されています。環境機器メーカーでもある大原鉄工所のバイオガス発電システムは小型で高効率、さらにメンテナンスがし易いことが大きな特徴です。

〈下水処理場に眠っていた未利用エネルギー〉

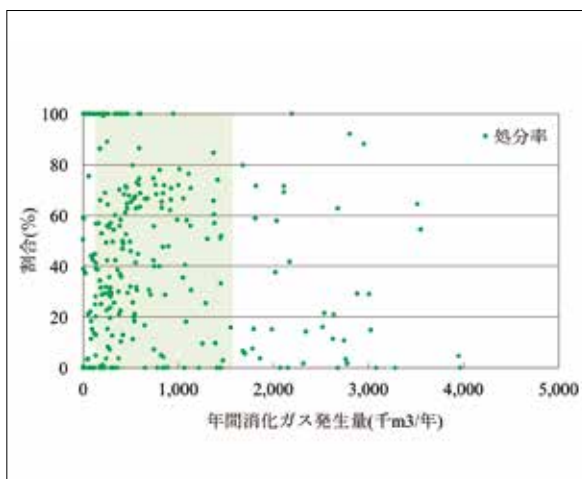
開発当時およそ280箇所の下水処理場で汚泥減容化の手法としてメタン発酵が行われていました。副産物として発生するバイオガスは発酵槽の加温に使う以外は余剰ガスとして焼却処分されるケースがほとんどでした。バイオガスの処分量は年間およそ9,400万 m^3 。バイオガスで発電できる電力量は長岡市全体の消費電力1ヶ月分相当に値します。これだけのエネルギー資源が未利用エネルギーとして下水処理場に眠っていたのです。当時の下水道関係者はこの未利用エネルギーであるバイオガスの有効利用方法を見つけるべく頭を悩ませていました。

〈普及が進まないバイオガス発電〉

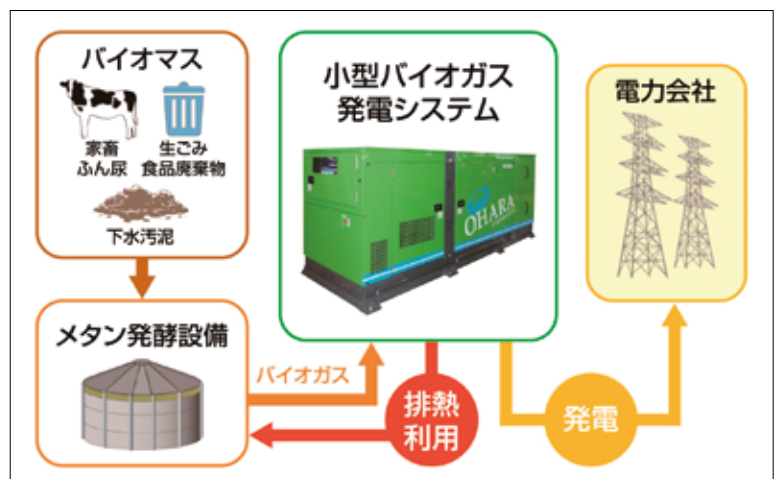
未利用のバイオガスが9,400万 m^3 も存在し、バイオガスの有効利用の手法としてバイオガス発電機が存在していたにも関わらず、バイオガス発電機の導入はなかなか進みませんでした。これは当時商品化されていたバイオガス発電機が大型で非常に高価であったことが原因でした。メタン発酵を行っている処理場の9割以上は中小規模の下水処理場でしたので、バイオガス発電の普及にはそれらの処理場でも導入出来る低コストでコンパクトなバイオガス発電機の開発が不可欠でした。そのような背景から土木研究所が行っていた基礎研究を引継ぎ開発されたのが大原鉄工所のバイオガス発電システムです。



バイオガス発電機



処理場の消化ガス発生量と処分率 出典：下水道統計 平成18年



バイオガス発電システム



イトーキマルイ工業(株) × 長岡大学



イトーキマルイ工業 株式会社

〒954-0124 長岡市中之島901-1
TEL 0258-66-3211 FAX 0258-66-3900
E-mail : nakamura6x36@itoki.jp



私たちは今回、イトーキマルイ工業株式会社を見学させていただきました。同社は1973（昭和48）年に創業したオフィス家具メーカーで、親会社である株式会社イトーキのブランドで販売されている商品の中で、特にキャビネット（収納家具）を中心に製造している企業です。また、同社のオリジナル商品として、輪投げ用具を製造・販売していることは、あまり世間では知られていないようです。

同社のキャビネットは、様々なスタイルのオフィスに対応し、空間を効率的に活用できるものです。多種多様なサイズや収納タイプを組み合わせることで多目的な展開を可能にしています。現在は、これからの社会の変化に対応するために、新しい商品の開発に取り組んでいるとのことでした。同社の品質管理で使われている代表的な測定機器としては、物体表面に光源を当て反射した光沢を測定する光沢計、塗装面の厚さを測定する膜厚計、色を数値化して基準となる色との差を測定

する色差計などがあるとのこと。イトーキブランドの商品を製造する全国すべての工場が統一した基準で製品の光沢、色、塗料の膜厚を数値で合わせているとのことには、徹底した品質管理への姿勢を実感しました。

私たちは同社の工場内をご案内いただきながら、キャビネット製造の工程を見せていただきました。最初にNCパンチプレス装置、セットプレス装置やその他のプレス装置を使って薄板金属材料の打ち抜き加工や曲げ加工を行い、次に板の溶接を行う工程でキャビネットの部品を作ります。その後、工場内のコンベアに吊り下げられた部品が長い距離を移動しながら約1時間半で塗装されます。最後には、それらの部品を組み立ててキャビネットに仕上げます。

中村元紀社長からは、「社員の身体だけでなく、心の健康にも気を付けて、この長岡で認められるように存在価値を高めていきたい」という強い思いをお聞き

しました。また、株式会社イトーキの工場は海外にもあり、その一つが私の出身地である中国の蘇州にもあるとのことにも私はとても驚きました。

今回の訪問で、私たちが普段身近に使っている製品が長岡の製造業の力で作られていることを知ることができ、また、ものづくりに取り組む経営者のお話を直接お聞きできる機会をいただいたことは、私たちにとって大変勉強になりました。お忙しいところ貴重なお時間を割いて丁寧にご説明をいただいた中村社長をはじめ同社の皆様にご感謝申し上げます。

長岡大学

経済経営学科	4年	宋 超
経済経営学科	4年	尾木和磨
経済経営学科	4年	菊地紘基
環境経済学科	4年	中沢裕太

第12期NEXT道場スタート

後継者・経営幹部候補者のための経営塾「NEXT道場」が、今年も5月23日に開講しました。

カリキュラムは合計13回（前期6回、後期7回。毎回2時間）で、11月まで続きます。

今期の塾生は、定員の10名で全員が初めての受講です。道場ではお互いに同様の立場、志を持つ塾生のネットワークも広がります。まずは自己紹介から始めましたが、仕事の任務、趣味や特技、家族のこと、その他近況など、多岐にわたって紹介されました。

初回では、塾長が講師となり「経営の本質、経営者の役割」をテーマに論じていただき、講義後には懇親会でさらに交流を深めました。

現在、第2回「経営分析I『費用と利益』」、第3回「経営分析II『利益を拡大するには』」も終え、今後、「経営改革」、「経済性工学」、「安全マネジメント」を学び、8月以降の後期では、「財務分析」、「知的財産管理」、「マーケティング」等について学びます。塾生は、参加で得た「気づき」等のレポートを毎回提出します。

リーダーに必要な資質である高い人間性を育て、経営することに対する理解力を深めていきます。また、塾生相互の交流を通じ、自らの考え、「志」を高め、ネットワークを構築していきます。



モノづくり現場改善支援派遣事業スタート

NAZEは会員や市内の製造業を対象にモノづくり現場改善活動の専門家「ものづくりインストラクター」を派遣し、改善活動を支援しています。

今年度は㈱タカハシ（板金関係）・㈱クワバラ（銘版・アクリル加工）の2社が実施し、6月末から11月まで5回（5日間）、ものづくりインストラクターとともに現場改善に取り組みます。



昨年の様子

現場改善による生産性向上と企業力向上をめざす 「長岡ものづくり現場改善インストラクター養成スクール」開校

ものづくりの現場において、現場改善活動を実践できる人材を養成する本事業は、本年度で5回目。10名の受講生が7月6日から10月12日までの計16日間、講義や実習により現場改善のノウハウを学びます。

本事業は、国が中小企業・小規模事業者の生産性向上を目的に公募した、「スマートものづくり応援隊事業」として、新潟県で唯一採択されました。（全国で21件が採択）



5S公開講座 開催

今年度は7月10日（月）、NICOテクノプラザを会場に開催。

昨年、5S活動の先進地として視察させていただき、その後、ご講演をいただいた「5Sのまち・足利きむら5S実践舎」から、引き続き、鈴木浩也氏を講師にお招きします。

今年度のテーマは～足利流5Sで学ぶ～「誰でも出来る効果確実な5S」。先進的な足利市の取り組みを参考に、5S実践活動の進め方をご指導いただきます。

聴講者は50名を超え、5Sへの注目度の高さが分かります。今後各企業の5S活動のヒントになることを期待しています。



Kuwabara 株式会社クワバラ

代表取締役 桑原 昭治
〒940-2039 長岡市関原南1-4346
Tel 0258-46-6013
Fax 0258-46-5636
E-mail : info@kuwabara-kk.com
H P : http://kuwabara-kk.com/



Q1 貴社の概要（企業概要・製品・技術など）

A1 弊社は創業44年、工業機械彫刻からスタートしました。その後、アクリル銘板をつくることになりアルミ、ステン銘板、樹脂製機械カバー、アクリルケース、レーザー彫刻をメインにやってきました。そこで培ってきた「彫刻」「切削」「磨き」の技術を活かし現在は、アクリルディスプレイ、アクリル雑貨、そして造形大学とのコラボによるオリジナル商品アロマディフューザー（アルミ+アクリル+木を組合せた）にも挑戦しております。



Q2 NAZEへのご入会のキッカケ

A2 NAZEへのご入会のキッカケは、後継者育成塾「NEXT道場」で勉強しようと思ったのがキッカケです。

Q3 NAZEに期待すること

A3 今後NAZEに期待することは、弊社単体では出来ない事業に参加させて頂いたり、同じような境遇、同じような世代の方々や切磋琢磨し繋がっていただければとても幸いです。それと同時に色々な業種の方々、普段の業務であれば出会うことの出来ない、行くことの出来ない企業等の方々や場所に行ける事もとても有難く思っております。

Q4 貴社の今後の展開など

A4 今後の弊社の展開は、個人個人が考えて行動できる会社を目指したいと思っております。“指示を出さなければ動けない”“判断するのは上の立場の者”ではなく、それぞれがそれぞれの考えで判断し行動できる人間を育てていける会社であれば理想だと思っております。現状はその理想からは程遠く、先が見えない状態ではありますが、悩んでいる時、行き詰った時にNAZEの企画であったり、NAZEの会員の方々のお話などで勉強させて頂き自身が成長していくのも大きな目的でもあります。

今後とも宜しくお願い致します。



マイテック株式会社

代表取締役 齋藤 吉朗
〒940-1104 長岡市撰田屋町2605
Tel 0258-89-8028
Fax 0258-89-8251
E-mail : saito@myti.jp
H P : http://www.myti.jp



皆様、NAZEに新規入会させて頂きました、マイテック(株)の齋藤です。

弊社は電子、半導体向けの超精密加工用砥石メーカーとして、2012年2月に創業し現在6期目になる会社です。これまでの5年間は特に、国が戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) で進める電力損失を1/2以下にし、低炭素社会を実現する新素材パワーデバイス用SiC(炭化ケイ素)、GaN(窒化ガリウム)の加工分野に力を入れて開発をしてまいりました。



それらのウエーハを# 15000、# 30000等の超微細砥粒を用い加工後のウエーハ表面粗さをRa0.5nm前後を実現する研削用砥石開発等を行ってまいりました。本年4月からはそれらの技術を生かすべく、撰田屋町に新工場を設立し製品の量産や、新たな製品の開発を行っております。今回NAZEへの入会は自社工場を設立後、業界内や、異業種の方々との交流の幅を広げ、自社の発展また、少しでも長岡への貢献を出来る様、何が出来るかを考えていくうえでいい機会だと考え入会させて頂きました。弊社製品も現状の物だけではなく、今後は電鍍製品、レジン製品等を展開できるよう計画しております。長岡発のダイヤモンド精密工具メーカーとして発展していく事で、地域を活性づけていければと思います。

今後とも皆様にはご指導、ご鞭撻のほど、何卒、よろしくお願い申し上げます。

産業用建築物の金属屋根鋼板の接合金具のトップメーカーである株式会社 サカタ製作所が、このたび経済産業省の「攻めのIT経営中小企業百選」に選ばれました。(表彰式5月31日)

(株)サカタ製作所 経済産業省「攻めのIT経営中小企業百選」に認定! ITを活用した事業改革と社員の働き方支援で、競争力・企業価値を一層強化!

産業用建築物の金属屋根鋼板の接合金具のトップメーカーである株式会社 サカタ製作所が、このたび経済産業省の「攻めのIT経営中小企業百選」に選ばれました。(表彰式5月31日)

「攻めのIT経営」とは、社内の業務効率化・コスト削減を中心とした「守り」ではなく、ITの活用による企業の製品・サービス開発強化やITを活用したビジネスモデル変革を通じて、新たな価値の創出や競争力の強化・業績向上等を目指すものです。

経済産業省は、平成26年度から3年間で「攻めのIT経営」で成果を上げている企業を評価し、全国381万社の中小企業から100社を選定した中にサカタ製作所が選ばれ、新潟県内では初の選出となりました。

同社は、リーマンショック後の苦しい状況を克服するため、付加価値向上とスピードアップ、情報発信力の強化、データ共有と活用推進、組織構造改革などの大改革をスタート。そのための強力なツールとしてIT投資を行い、IT経営を積極的に推進してきました。

同社の「攻めのIT経営」の第一の取り組みは、Webを使って見積書や図面を即座に提供できる「快速見積システム：SaQS（サクス）」の開発です。お客様はWeb上でID・Passでログインし、専門知識が無くても必要な情報（金具の種類・屋根の位置関係等）を入力するだけで、即座に見積り・図面が作成され、ダウンロードすることも出来ます。これによって、お客様からの引き合いに対して、迅速かつ柔軟に対応できるようになり、販売拡大につながりました。また、気象情報システムとも連動し、設置場所の気象状況を判定し、風害・塩害・雪害などを想定したカスタマイズ製品の提案など、一歩踏み込んだ提案セールスにつなげたサービスが可能になりました。

第二の取り組みは、同社の「Webサイトの刷新」です。ホームページをこれまでの一般的な製品カタログ情報掲載型から脱却し、データベース機能を充実させ、簡易図面や試験データ・施工要領書までも公表し、ダウンロード出来るようにし、取引先の信頼を得ました。また、YouTubeやFacebookを活用し、自社技術・新製品情報・最新トピックスなどの発信も積極的に行い、アクセス数も大きく伸びています。

第三の取り組みは、社内の情報共有・業務効率化を目的とした「クラウド型グループウェア Office365」の導入です。Office365の「Skype for Business」のチャット機能を活用することで社員間通話でお客様の回線がふさがるなどの電話・メールのデメリットを補完し、営業・製造間の業務連絡の効率化等につながりました。また、お客様からの要

望意見を情報共有する仕組みとして、Office365「Yammer」のSNS機能を活用し、営業内だけでなく設計部門含めた全社で情報共有が進み、顧客満足度向上が図られています。樋山智明ITシステム課長から、これまでに注いだ情熱と苦勞を熱く語っていただきました。

また、同社は社是に「教育に優る業務なし」を掲げ、「社員教育」に力を入れており、社員の資格取得等にかかる必要な費用（受験料・参考書代等）は全額会社が支給しています。

さらに、新潟県が推奨する「ハッピー・パートナー企業」として、「働きやすい職場環境づくり」や「ワークライフバランス」にも積極的に取り組んでいます。週休二日制に加え、ユニークな「記念日休暇」の導入し年間休日は123日。有給休暇は1時間単位で休めるとのこと。社員のご家族から職場の雰囲気を感じてもらう「社員の家族見学会」は毎年好評。昨年は1,500万円掛けて社員意見を反映したトイレを改修。別の職場環境を経験し人脈を広げてもらうため「副業」さえ可能とのこと。

ITを活用した改革により、同社の過去5年間の売上の伸びは約1.4倍（新規顧客数は約1.6倍）と、順調に業績を伸ばしています。「機械設備への投資に比べ、IT投資は業務変革やサービス向上などの変化がすぐに見え始め、企業収益の効果が表れやすい」と語る小林準一総務部長。「サカタ製作所は、『会社と社員がともに成長する会社』として、機械設備（有形資産）の充実とともに、お客様へのサービス向上や社員育成・働き方・やりがいなど（無形資産）の充実を見たお客様からサカタ製作所が魅力的な会社であることを感じていただきたい」と語られました。これからもさらに企業価値を高める変革を進めていくとのこと、今後ますますの発展が期待される企業と感じました。



(取材：事務局 渡貫大介)

NAZEは現在77会員!

法人72・個人5

(株)アサヒプレジジョン
飛鳥運輸(株)
(株)アドテックエンジニアリング
(株)アルモ
(株)アンドウ
(株)イートラスト
(株)池田機工
イトキマルイ工業(株)
エヌ・エス・エス(株)
(株)N D C
(株)エム・エスオフィス
(株)オオイ
(株)大善

(株)大原鉄工所
(株)大菱計器製作所
小川コンベヤ(株)
(株)片山抜型製作所
(株)カバサワ
久保誠電気興業(株)
(有)倉品鐵工
クリーン・テクノロジー(株)
クリエイトエンジニアリング(株)
(株)クワバラ
(株)小西鍍金
(株)小林超硬研磨
(株)サカタ製作所

(株)佐藤板金
(株)サンシン
JPC(株)
(株)システムスクエア
(株)七里商店
(株)シナダ
(有)シンエー木型工業
(株)鈴民精密工業所
(株)大光銀行
(株)第四銀行
第四電設(株)
(株)タカキ
(株)タカハシ

中越鋳物工業協同組合
テラノ精工(株)
(株)トーエイ
(株)東洋冶金
ナウエス精工(株)
(株)長岡金型
(有)シンエー木型工業
長岡技術科学大学
長岡工業高等専門学校
長岡信用金庫
長岡造形大学
長岡大学
長岡電子(株)
(株)永島工機

(株)中津山熱処理
(株)ナノテム
(株)難波製作所
(株)ネオス
(株)波多製作所
(株)パートナーズプロジェクト
(株)林メッキ工業所
(株)BSNアイネット長岡支社
(株)淵本鋼機
古川機工(株)
(株)プレテック・エヌ
(株)北越銀行
(株)ホクゲン経済研究所

北陽精工(株)
マイテック(株)
マコー(株)
(株)丸栄機械製作所
(有)毛利製作所
ユニオンツール(株)長岡工場
吉井国際特許事務所
古口 日出男
高田孝次
野中 敏
廣井 晃
柳 和久

(H29.6.30現在)

長岡で頑張る企業、起業家を応援します!

ナゼ

くわしくは →

<http://www.naze.biz/>

●記事内容についての感想をお待ちしています!

Nagaoka Activation Zone of Energy
長岡産業活性化協会 NAZE

〒940-2127 新潟県長岡市新産4丁目1番地9 NICO テクノプラザ内 NAZE 事務局
TEL : 0258-42-8700 FAX : 0258-42-8701 E-mail : info@naze.biz

印刷：(有)めぐみ工房

